

湯沢CS通信

令和7年1月20日第78号

(発行) 湯沢市教育委員会
学校教育課 CS担当

地域とともにある学校づくり

皆瀬小・中学校の実践

皆瀬小・中学校では、地域のお祭りである紅葉まつりと小学校の学習発表会・皆中祭を同日開催して今年度で三年目になります。午前中に小学校の体育館で学習発表会、午後から中学校の体育館で皆中祭を行い、そしてその合間に小学校の中庭で紅葉まつりとしてゲーム、バザー、防災体験など、地域の皆さんが参加できる活動を行っています。この取組をより充実させようと、第三回学校運営協議会を小・中合同で熟議(テーマ「紅葉まつり・皆瀬小学習発表会・皆中祭の今後について」)を行いました。話し合いでは、「小・中それぞれの演示が充実しているの、より多くの地域の方に観ていただくために、中学校のステージで小・中交互に演示してはどうか」「地域の皆さんの参加を増やすために、庁舎のバスを運行してはどうか」など建設的な意見が多く出されました。まさに、地域とともにある学校づくりが実践されていることが伺えました。



雄勝小学校の実践

雄勝小学校は、今年開校10年目を迎えました。開校記念日である12月1日に10周年記念事業の一環として「地域交流フェア」が行われ、学校周辺の地域住民や保護者などが多数参加し、学校と地域の連携が一層深まりました。



当日は、体育館で学区内にある四つの地域づくり協議会がブースを設け、地域資源にまつわるクイズを出したり、餅つきをしたり、農産物の販売をしたりしました。また、教室やホールには、四校(横堀小・小野小・院内小・秋ノ宮小)の開校記念誌や雄勝地域の街並みや行事を年代ごとにまとめた写真などの貴重な資料を展示しました。最後に、全校児童が校歌の合唱を披露しました。子どもたちからは「地域の方々と一緒に節目をお祝いすることができてうれしかった」という感想が多く聞かれました。

12月に行われた第三回学校運営協議会でも、この活動の振り返りを行い、どの団体が主催するかは課題であるが、今回のような学校と地域が交流する活動は来年度以降も続けたいという意見が出されました。

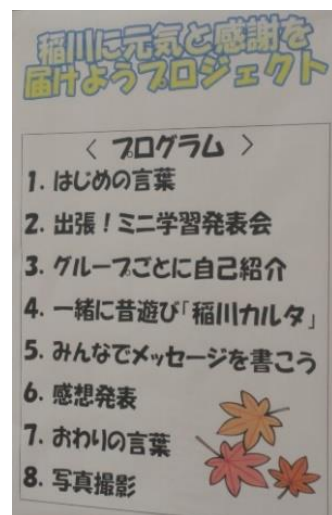


稲川小学校の実践

稲川小学校は、稲庭小・三梨小・川連小・駒形小の四校が統合して三年になりました。地域住民からは「子どもたちの声が聞こえなくなつて寂しくなった。」という声が複数届いているようです。そこで、学校では子どもたちが地域に向き、高齢者等と交流する活動を計画しました。具体的には、六年生が「稲川に元気と感謝を届けようプロジェクト（総合的な学習）」で地域の高齢者と交流活動を行いました。

まず、学校運営協議会で行った熟議で参加者からどんな活動内容がよいかなどのアイデアを出してもらい、それを基にして活動計画を作成しました。実際の活動は、五・六年生が四班に分かれて四地区に向き、地域の高齢者等と自分たちが作成したカルタをして楽しんだり、出張ミニ学習発表会をしたりして交流しました。参加者からは、「子どもたちが稲庭小の校歌を歌ってくれたが、懐かしくて一緒に口ずさんだ。」「楽しいひと時だった。子どもたちから元気をもらった。」などの感想をいただいています。

第三回学校運営協議会では、子どもたちが地域に向いた活動は、地域の皆さんに好評だったので来年度以降も継続して行つてほしいなどの意見も出されました。



学校運営協議会会長からの寄稿

「ふるさとに誇りをもち、

主体的に未来を切り拓くことができる大人であれ」

雄勝中学校 学校運営協議会 会長 菅 善徳

「ふるさとに誇りをもち、主体的に未来を切り拓くことができる子どもの育成」令和6年度の雄勝中学校CS基本構想において、地域とともにめざす子供の姿です。校長が掲げたこの基本構想を叶える為の「学校経営の理念」や「目指す学校像・生徒像・教師像」または教育目標を達成するための、重点施策などを校長先生から説明して頂き、それを承認するところからスタートしました。

例えば、「ふるさとに誇りを持つ生徒」の育成については、まずは「地域を知る」こと。「主体的に未来を切り拓くことができる生徒の育成」については「知識・技能の確実な定着と思考・判断・表現力を育成する」などです。

このような具体的な目標を達成するにあたり協議会において何ができるかを話し合い、その結果次の3つのプロジェクトが立ち上がりました。一つ目、雄勝の良い所等を地域ごとに調べ学校祭で地域をプレゼンテーションするプロジェクト。二つ目、高齢化によって放置されている柿を収穫し活用する事で、熊被害も防ぎながら資源の活用へ繋げるプロジェクト。三つ目、毎年開催している防災プロジェクトです。それぞれプロジェクトチームを編成し、委員が主体的に関われるよう心がけました。「主体的に」というのは言葉にするのは簡単ですが、先ずは自分自身が主体的に行動できる大人でありたいものです。

